

第2回三重のふるさとシンポジウム(案)

～三重の田舎は宝の山、地方創生は私たちの手で～

平成 27 年
3 月 8 日 (日)

豊かな地域資源に恵まれる三重県の中山間地域は、多くの地域住民のみなさまの活動によって守られています。その活動を支える施策に関する情報を、さまざまな立場の実践者が報告し、意見交換することで、さらに有効な地域振興につなげていくことを目的に、シンポジウムを開催します。

プログラム

12:30～ 受付
13:00 開会
13:05～ 基調講演
14:30～ 中山間地域活性化の事例報告
16:00 閉会

定員:100名
主催:三重県
参加費:無料
会場:
松阪商工会議所
第一会議室
(松阪市若葉町161-2)



基調講演

「実践！小さくても経済が回るむらづくり」

金丸 弘美 氏

食環境ジャーナリスト
内閣官房地域活性化伝道師

地域リーダーの愛読書「田舎力 ヒト・物・カネが集まる5つの法則」著者

「食からの地域再生」「食育と味覚ワークショップ」「地域デザイン」をテーマに全国の地域活動をコーディネートし、食からの地域創り、特産品のプロモーション、食育事業のアドバイザーとして活動。

地域に根付いた食文化を再発見し、各地の元気をネットワーク化することを実践の場から発信し続けている金丸氏に、小さくても地域の経済が回るむらづくりについて、みなさまの地域での実践につながるお話しをしていただきます。



中山間地域の活性化事例報告

1. 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

伊賀市種生地区

伊賀市種生地区では、「中山間ふるさと・水と土保全基金」を利用して地域住民が農村環境を保全するとともに、その農村環境を活かして地域内外の住民が触れ合う場を創り出しています。その取組について報告します。

2. 中山間地域等直接支払交付金事業

大台町

中山間地域は農地の傾斜がきつく生産条件が不利なため、農業の担い手が不足しています。しかし大台町では「中山間地域等直接支払交付金」を活用し、「みのり会」が多くの集落で農作業を請け負うことで、農地を守っています。

3. 三重のいなかビジネス展開事業

地域資源活用講座修了生

県が実施する「いなかビジネス展開事業」では、曾根原久司講師（NPO 法人えがおつなげ）の指導により地域資源を活用したビジネスを実践する人材を養成しています。その講座で作成した優秀プランを発表します。

4. 三重県地域活性化プラン

三重県農林水産部

三重県では「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する条例」に基づき、集落等の活動を支援しています。伊賀市の農家レストラン「あわてんぼう」、津市の「足坂農家組合」の事例を交えてプランに基づく地域作りを紹介します。

お申し込み・お問い合わせ

三重県農林水産部 農業基盤整備課 〒514-8570 津市広明町13番地

E-mail: nokiban@pref.mie.jp TEL: 059-224-2551 FAX: 059-224-3153

*参加のお申し込みは、下記へ参加者のお名前と所属を知らせてください。